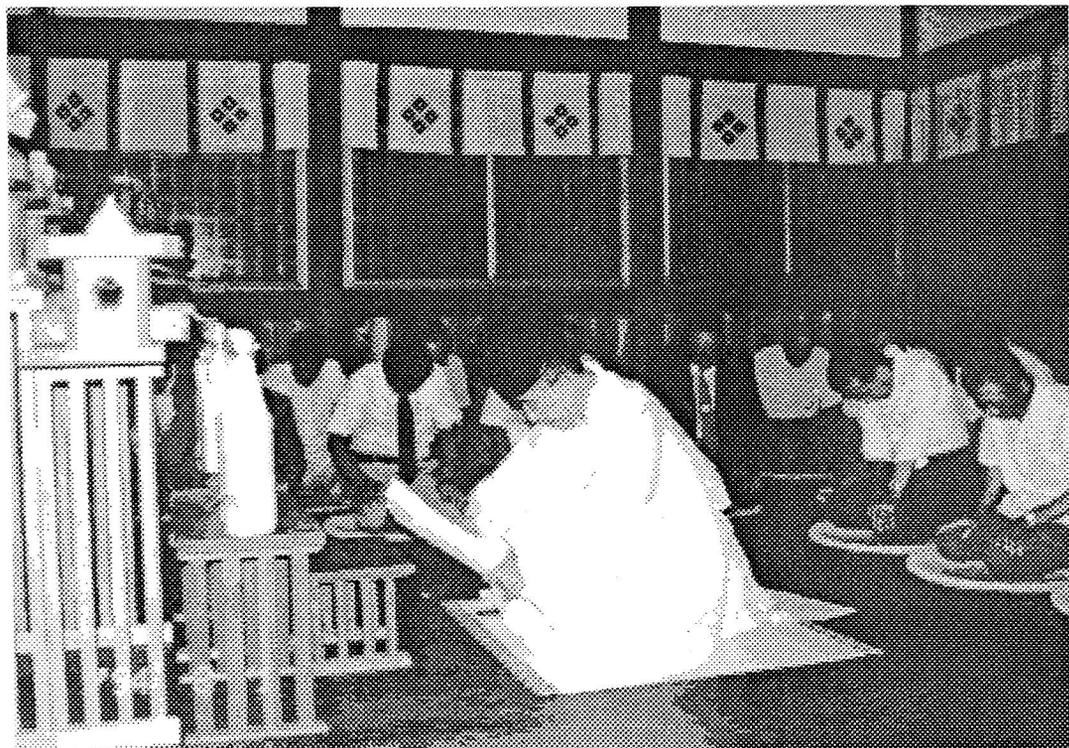


10月20日

自然を愛し  
人を愛する



豊かな心を  
育てよう



【雨乞いの祈禱 (8/3)】

# 広報 下之郷

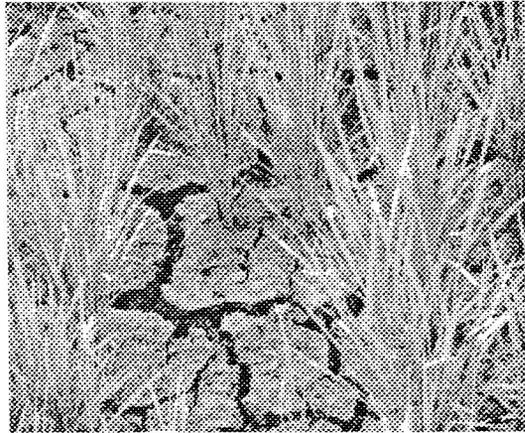
1994 9月号

No.4

	平成6年
	8月1日現在
人口	943人
男	446人
女	497人
世帯数	215世帯

# 昭和14年以来の大旱魃

七月号で植え付け以降の高温多照で順調な生育で経過しひたすら豊年満作をと申し上げたのですが、以後、梅雨明けも早く、降雨もなく犬上川農業用ダムの貯水量も減少の一途をたどり、七月十二日には満水位から十三米二十六糎まで下降し、七月十八日から各日送水となり、八月一日からは三日に一度の送水、八月十三、十四の



一面にひび割れた田

降雨により、八月十六日からは各日送水となりました。その間農家の皆さんには昼夜の別なく取り組みをいただき大変御苦労様でした。御陰様で集落内圃場略順調な登熟状況であります。一部イノ町地先では水不足で枯死田が出た事は誠に残念であります。

七月以降集落でも色々な取り組みがなされました。以下に列挙してみます。

〔七月十三日〕

農業組合緊急評議員会開催。今後の対応協議

〔七月十五日〕

各用水路水利委員会開催。具体的方策について協議。

〔七月二十八日〕

協議委員会を開催され、番水体制協力依頼。席上、二組組長から一ヶ月あまり降雨がないが

伏



水不足による倒伏

この上は神頼みをと提言される。

〔七月二十九日〕

役場にて区長、農業組合長、用排水調整委員、合同会議

〔七月三十日〕

農業組合緊急評議員会開催。三日間隔送水の対応について。

〔八月一日〕

桂城神社にて雨乞い神事について宮世話、評議員合同会議が開催され八月二、三日の両日に神事奉行が決定された。

〔八月二日〕

午後十時より雨乞いおこもり神事奉行。かがり火

〔八月三日〕午前五時雨乞い神事奉行。百人余りの参拝者。

〔八月四日〕

南池揚水準備終日

〔八月五日〕

農業組合緊急評議員会開催。南池揚水決定



区民を祈る慈雨

〔八月六日〕

南池揚水開始。毎日午後約五時開揚水。

〔八月十一日〕

用水現状踏査。

〔八月十二日〕

用水増量について犬上

川沿岸土地改良区へ要請。農業組合長他。

〔八月十五日〕

午前五時三十分より前日の降雨もあつて特別送水される。

〔八月十七日〕

黒田県会議員早魁田状況現地踏査。

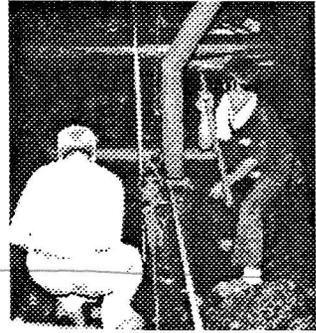


被害状況を視察する黒田県議

として特別送水がされた。感謝の念一杯。

〔八月二十一日〕

夕刻約二時間降雨。雨乞いが神に通じたか。



南池の揚水準備

番水期間中、我田引水は絶対にさけて下さいと各水路の水利委員さん  
にお願いをしておりましたが、残念  
ながら次のようなことがありまし  
た。

一、暗渠内の見えない所に異物の投入

○発泡スチロール

○石、土などを肥料袋に入れた物

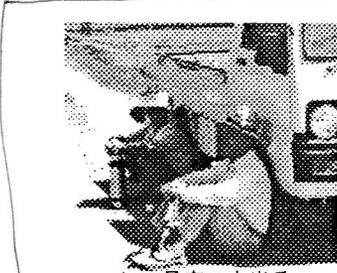
二、下の田へ送水中に上の自分の田の水  
口を開けていたもの

三、外見は止板で水口が止めてあるよう  
に見えるが下に石等を置いて水が入  
るようになっていているもの

等々数え上げれば限りがない。

合意の上で決定された事は厳守することが大切ではないでしょうか。

一集落一農場を目指し



昼夜の水当番

た下之郷営農ビジョンも、豊かな郷づくりも大変どこかできないのではと心配するのは私だけにしたいものです。

圃場<sup>保</sup>備事業も含めた反省に立つて次のような提言をしたいと思います。

一、各水路配水樹の改良(分水口)

多少の用地と資金が必要です。もし決定されれば是非協力をお願いします。

二、深井戸用水施設の設置

下之郷領域内(含集落内)に三、四ヶ所設置が必要かと思えます。相当量の資金を必要としますが、全体合意で大正時代に南北揚水池を築造した先人の労苦を思いうかべつつ、是非設置したいものです。

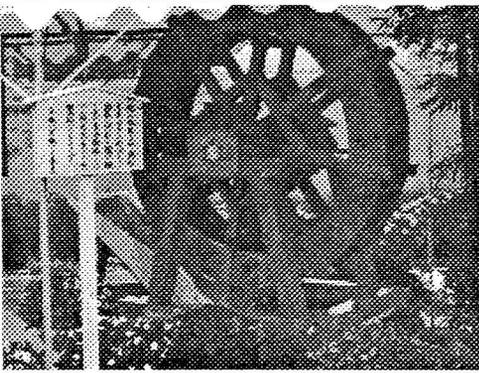
今年の番水で噂も含めて色々な事が話題になっていきます。中傷や陰口でなく、お互いが良い教訓にして一集落一農場、心豊かな郷づくり、生まれて、住んで良かったと言える下之郷づくりにみんなで真剣に取り組みようではありませんか。

「二階堂昭三 記」

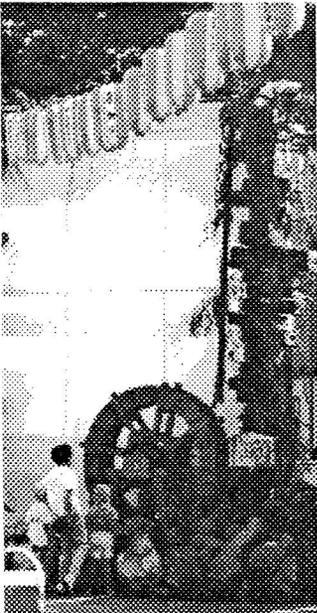
# 第11回甲良町夏祭り参加

去る七月三十日(三十日)にかけて、甲良町夏祭りが役場中央公民館前広場に於いて盛大に開催されました。区民の皆さんもすでにご存じのことと思いますが、本年は「せせらぎテント村」が設営され、住民参加型のイベントとして各集落の工夫をこらし、らしさを対外にアピールしたいものを創作展示しようということでした。

当集落からはイベント部会と河川部会合同の力作《水車》の展示と宮農ハウス協賛の朝取りトマトの販売を致しました。また、町民総踊り大会には清流の郷、鯉と水車の郷をアピールするため、鯉の滝のぼりの図柄をあしらったハッピを着用して参加しました。



## にぎやかな夏祭り



# 夏休みの子どもたち

日帰り旅行と球技大会を終えて

小学校PTA支部長

安沢 信雄

子供たち待望の夏休みに入り、何をやるうかとわくわく胸躍らせている頃、7月25日に子供会日帰り旅行を計画通り実施致しました。

例年がない雨不足で台風7号に多くの人や私も雨を望んでいましたが、反面雨と降ってくれるなど願いつつ下之郷スポーツ公園を出発しました。

幸い、道路の渋滞も無く、天保山に予定通り着き、すぐ帆船サンタマリア号に乗船しました。台風の影響で風が強かったが、体一杯潮風を受け船内を駆け巡り楽しいひと

## 「字旅行」

6年 上野慎司

子供会の字旅行は、役員のおじさんやおばさんたちが海遊館とサンタマリア号を計画してくださいました。

まず、サンタマリア号に乗船しました。帆がついていて、中にはコロナプスの部屋やてっぽうがかざってあった。

そのあと海遊館を見学した。中心の大きな水そうの中にジンベエザメがいて、大きな体でゆうゆうと泳いでいた。べつの水そうにタカ足ガニ

がいて足がからまるほどだった。一度行ってみたいと思っていた所に字旅行で行けてよかった。今年は小学校生活最後の夏休み。楽しい思い出ができてよかった。



サンタマリア号にて

きでした。

海遊館では愛らしいラッコや大きなジンベイザメに見入り鱒の群・大きな高足ガニに感心しながら楽しい一日になったように思います。

翌26日は町の球技大会に参加し、日頃の練習の成果を見せるためと、区長代理、分館長さん、保護者の応援の中一生懸命プレイし、女子のAチームは、堂々の準優勝でした。(女子Bチームもよく頑張り、一回戦は勝ちましたが二回戦は、同じ下之郷Aチームと対戦、先輩チームに勝ちを譲りました。)残念ながら男子A・Bチーム共すばらしいプレイを見せてくれましたが一回戦で負けてしまいました。みんなよく頑張ってくれました。



町球技大会準優勝の女子Aチーム

ソフトボール大会

5年 安沢 雅史

7月26日にソフトボール大会がありました。ぼくはBチームだったのでAチームのことは知りません。Bチームは、最初シードけんでした。そして名前はわすれたけれど、強いチームなので負けました。ぼくは6番でサードでした。最初、ぼくのほうにボールがとんできてファーストになげたらぼうとうでした。そして2、3回ぼくのエラーがつづきました。つまらないのにサードベースをふんだりボールがとんできとろうとしてエラーした。ぼくがバッターするとき、うって、むこうがエラーしたけど、むこうにうたれて負けてしまいました。



子供たちみんなで地藏さまにお参り



地藏盆風景

地  
蔵  
分  
皿



やっぱり、食べるのが一番楽しいな！



地藏盆協賛  
エルダー婦人会の出品



盆踊りも段々と  
さみしくなったなあ



各戸のお飾り

# 中学生の夏休み

## エキスポランドにて

古川 芳雅



八月一日、下之郷中学校PTA恒例の字旅行でエキスポランドに行きました。心配していたお天気も例年にならない猛暑の中、当日は、雲が所々広がり、まずまずのお天気でした。交通渋滞も無く、スムーズに一路エキスポランドへと到着。25年程前、高校生の時に来て以来です。浦島太郎の心境ですっかり変わってしまったエキスポランド

を見渡していると、太陽の塔だけが当時と変わらずデンとそびえ立っていたのには感無量でした。入り口で注意事項を言い終える

が早いか、子供達は思

い思いの所

へ散らばっ

ていきまし

た。親達も

子供にかえ

って胸ワクワク

サクサク

がいろいろ

な乗り物に

乗り、子供

達以上に楽し

んでおりました。

園内で出会う子供達の

顔はとても楽しそうに輝いて見えました。

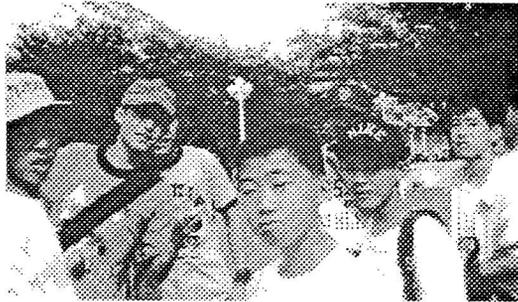
思い思いのお土産と楽しい思い出を胸

に、一同無事に帰途に着くことができました。

子供たちには、まだまだ残暑きびしいで

すが、勉強に運動に精一杯頑張ってほしい

と思います。



## 下之郷の昔話

### 「下之郷馬場の大へび」

村の真ん中に「馬場」があります。このあたりには、むかし、大へびがすんでいて、ときどき夏になると姿を見せたそうです。ある年の夏に、馬場の土橋を渡ったところ、この土橋は非常に長いのに、へびの頭が橋を渡りきっても、しっぽはまだ反対の橋のたもとにあったそうです。

またある年、その近くの家の門の板垣の内側に大へびの皮が脱いでありました。その皮の長さは、なんと六尺以上もあったそうです。今で言えば、二メートルぐらいでしょう。

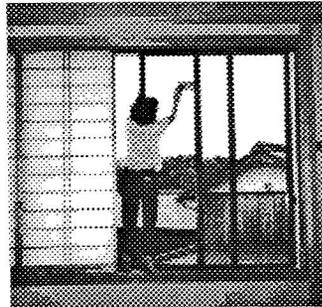
一度、お目にかかりたいものです。

（「こころの民話」より）





自警団による道路標識等のペンキ塗り



婦人会による公共施設清掃

# みんなの手で 住み良い下之郷に！

|| 各種団体や区民の皆様のご奉仕活動 ||

〔七月二十四日〕

婦人会で集会所・公民館の清掃

〔八月三日〕

老人会で神社、スポーツ公園の清掃と草刈り

〔八月七日〕

区民の皆さんで、ひらど街道とスポーツ公園の草刈り

〔八月七日〕

七、八、九組の皆さんで、南池の除草。

大変暑い中、ご協力ありがとうございました。

## 9,10月の予定

九月二十日 少年団秋季花壇コンクール大会

九月二十四日 百灯祭

各種団体出店行事

十月 九日 区民運動会(雨天中止)

### 編集後記

今年の夏は、本当に暑い日の毎日でした。記録的な異常気象となり、田んぼの水はもちろん、生活用水にも事欠くこととなり、乾燥が原因と見られる火災も各地で多数発生しました。

また、被害は小さな生き物達にも及びました。ツクツクボウシはあまりの暑さで半月も早く鳴き始めました。堅く固まった地中から出るのが精一杯で、鳴く季節を忘れてしまったのでしょうか。サルスベリの花も、暑さにせかされ早々と開花してしまいました。

けれど、このような異常とはいえ自然界のおりなすもようを人の力で解してはいけないものもあるように思います。吹き出る汗をぬぐいながら、夏の風光を感じるのも、夏の過ごし方かもしれないですね。

やがて訪れる赤トンボの秋になったころ、人はこの夏をどのように回顧するのでしよう。やはり、暑すぎた夏だったと……

編集委員長 二階堂昭三 編集委員 川並 稔男 阪東佐智男

阪東 祥子 上野 典子

上野 芳樹